

【子ども像】

知 自ら課題を解決しながら、共に学び合う子
 徳 互いのよさや違いを認め合い、共に高め合える子
 体 自他の生命を尊び、心も体も健やかな子
 公 人々や自然から生き方を学び、自ら考え実践する子
 開 まちを愛し、自然や文化を受け継ごうとする子

【学校教育目標】

共に創り
 共に歩み
 共に輝く

【学校像】

信頼と協力、安心と豊かさのある学校

【教師像】

個々の力を発揮するために学び続け、
 他と連携しながら組織を活性化させる教師

カリキュラム
 マネジメント

◇中期学校経営方針

【R4~R6の2年目】

◇子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

■コロナ5類移行後のカリキュラム・マネジメント

・体験と交流の充実
 ・子どもの学習履歴と育ちを分析した学習展開

・学力学習状況調査等の活用

■3つのプランの確実な取組

・学力向上アクションプラン
 ・豊かな心の育成推進プラン
 ・健やかな体の育成

■チーム学年経営

(全学年 一部教科分担制)

・学力向上(授業改善)
 ・児童の心の安定(複数の教職員の関わり)

■働き方改革

・1年生架け橋プログラム

■GIGAスクール構想3年目のICT活用

・端末の日常的な活用
 ・ICT機器を活用した授業改善
 ・プログラミング教育

・端末を用いた他者への発信

・デジタル教科書の活用

■授業のユニバーサルデザインで、分かる授業・見通しや振り返りを大切に授業の展開

■異学年交流

・ペア学年(新体カテスト・集会活動)・ペアグループ

■多様なニーズに応じた教育

・特別支援教室
 ・個別的教育支援計画・個別の指導計画の作成

・合理的な配慮

■いじめの防止・早期解決

・児童アンケートの実施と対応
 ・子どもの社会的スキル横浜プログラムの活用

「社会に開かれた教育課程」の実現

～よりよい学校教育を通じて
 よりよい社会をつくる～

持続可能

◇働き方改革

◇オンライン活用で学校・保護者・地域の連携強化

■持続可能な学校運営

・ICTの活用(会議の精選)
 ・フレックスタイム等、多様な働き方の活用

・携帯電話・留守電の活用

・定時退勤日(月1回)の設定

■学校説明会、宿泊学習説明会
 入学説明会等のリモート・オンライン開催(Google meet YouTube)

■個人面談、懇談会の実施のリモート(ZOOM)等実施試行

■ホームページの随時更新・

■緊急メールアプリの活用

(ミマモルメ)

■体調管理・欠席連絡アプリ

の活用(リーバー)

■保護者・地域連携

・学校評価

・学校運営協議会

・持続可能なPTA運営

通級指導教室

■通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化・情報共有

■「まなびの支援教室」「きこえとことばの教室」の教員の専門性を生かした研修

■通級と本校の職員の特別支援教育の専門性を高める交流

横浜市立 綱島小学校 令和4-8年度版 中期学校経営方針 (令和5年度修正)	
<p>学校教育目標 共に創り 共に歩み 共に輝く</p> <p>○基礎・基本を大切に、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。【知】 ○他者との豊かな関わり合いの中で、互いのよさや違いを認め合い、共に高め合える姿勢を育てます。【徳】 ○健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。【体】 ○地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。【公】 ○私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。【開】</p>	<p>学校像 信頼と協力、安心と豊かさのある学校</p> <p>教師像 個々の力を発揮するために学び続け、他と連携しながら組織を活性化させる教師</p>
<p>学校 創立 74 周年 校長 金谷 孝子 副校長 魚住 千寿 2 学期制 一般学級 21 個別支援学級 3</p> <p>児童生徒数 657 人 主な関係校 新田中学校</p>	
<p>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</p> <p>【綱島小学校】感謝の気持ちを持ち、自他を思いやり認め合う子 一躍力、伝える力</p> <p>【新田中学校】自分づくりに関する力</p>	<p>新田中学校ブロック</p> <p>「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子</p> <p>①自分づくりに関する力をブロック全体で育てたい資質・能力として共通し、基礎知識・技能に即して、資質・能力を磨いた授業を展開する。②ブロック中一貫共同授業(授業支援教室)を実施する。③児童生徒交流日に、6年生が中学校の各級練習に参加し、交流する。④授業支援教室(学年)を通して、中学校生活への接続を図る。</p>
<p>中期学校経営目標</p> <p>①子ども一人ひとりが思いやりの心を持ち、自ら学び合い、主体的に学びが深まるよう授業展開を進めます。②児童生徒の豊かな心を育て、思いやりの心を持って行動する子どもを育てます。③健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。④地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑤私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑥児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。⑦健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。⑧地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑨私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑩児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。</p>	
<p>重点取組分野</p>	<p>具体的取組</p>
<p>知 確かな学力</p>	<p>①授業を通して身に付けさせたい資質・能力を磨き、前記「学び」や「育ち」を身に付けさせる。②児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。③健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。④地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑤私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑥児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。⑦健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。⑧地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑨私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑩児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。</p>
<p>徳 豊かな心</p>	<p>①委員会活動や係活動などの特別活動や異学年での関わりを充実させ、自他を大切に思いやりの心を持って行動する子どもを育てる。②健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。③健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。④地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑤私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑥児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。⑦健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。⑧地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑨私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑩児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。</p>
<p>体 健やかな体</p>	<p>①体育学習を中心として、自分の身体を意欲してよりよい心と体を育もうとする意欲を育てる。②学校保健委員等の学校保健活動では、学校医等と連携し、児童の健康面での課題を取り上げ、実践的な活動をすすめていく。③危険を予測し回避できる安全教育・防災教育を充実させる。</p>
<p>公 自分づくり・地域連携</p>	<p>①地域の「人」の「もの」の「場所」の「事」を学び、「まち」に生きる一員としての自覚を高めるために、本校ならではの学習の充実と展開を図る。②地域との繋がりを大切にし、感謝の気持ちを持ち、伝えることができる関係を築く。③自分づくりに関する力を育てる。④地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑤私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑥児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。⑦健康や安全の大切さに気づき、自分や他者の生命を尊ぶことのできる、心も体も健やかな子どもを育てます。⑧地域の人々や自然との関わりを通して、生き方を学び、自らできることを考えて実践できる力を育てます。⑨私たちの「まち」綱島を愛し、綱島の自然や文化の素晴らしさを受け継ごうとする態度を育てます。⑩児童生徒の主体的な学びを促し、自ら課題を解決しながら、共に学び合う力を育てます。</p>
<p>いじめへの対応</p>	<p>①教科指導や特別活動を通して、温かな学級風土づくりをしたり、児童の豊かな心を育成したりして、いじめの未然防止に努める。②年2回の「いじめ防止アンケート」を教育相談を行い、いじめの早期発見をし、児童生徒の安全を確保し、いじめ防止の教育活動を展開して、いじめ防止に努める。③いじめ防止の教育活動を展開して、いじめ防止に努める。</p>
<p>人財育成・組織運営(働き方)</p>	<p>①学年での教科分担を実施し、職員が連携し合うことにより、チーム力を高める組織づくりを行う。②5年次以下の職員を中心とした「チーム」を組織し、研究授業や研修を通して授業力の向上を図る。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有を図る。</p>
<p>特別支援教育</p>	<p>①個別的教育支援計画(指導計画)に即し、児童一人ひとりに合った教育環境となるように、PDCAサイクルを意図して取り組む。②児童が落ちないで取り組めるユニバーサルデザインを意図した授業や環境づくりを目指す。③通級職員と要員交換する場を積極的に設け、連携を深め、個に応じた教育活動を展開して、児童数指導を充実させる。</p>
<p>児童・生徒指導</p>	<p>①担任、学年の教員や専科教員など多くの職員で児童と関わり、情報共有して児童理解に努める。②綱島スタンダードを全員で共通理解し、同じ方向性で指導を行うことで、児童一人ひとりが安心・安全に生活できる環境を整える。</p>
<p>教育課程学習指導</p>	<p>①学年を横断して、「協働的な学び」「個別最適な学び」を構築する授業改善に取り組む。②カリキュラム全体を系統的な視点で捉え、PDCAサイクルを意図した学校全体の授業改善を進め、児童一人ひとりに合ったカリキュラム・マネジメントを推進する。③情報活用能力の育成、情報モラルの理解、情報の信頼性の検討、複数の情報から課題解決する学びの構築など、時代のニーズや変化に合ったICT教育を進める。</p>
<p>通級指導教室</p>	<p>①一人ひとりに応じた支援ができるよう研修会を企画し、個別の指導計画の適正な活用や合理的配慮の実践が図れるよう情報共有して、通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。②通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。③通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。④通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。⑤通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。⑥通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。⑦通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。⑧通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。⑨通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。⑩通級指導教室と本校の迅速な連携と支援強化を図る。</p>

【9年間で育てる子ども像(ブロック)】

「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子

まほうの

ことば

横浜教育ビジョン2030

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

知・徳・体・公・開

「一人ひとりを大切に」

「みんなの計画・みんなで実現」

「EBPM(エビデンスに基づく施策形成)の推進

つながろう
 なかま
 やさしさ
 まなびあい

